

授業科目等の概要

(医歯薬専門課程 視能訓練士学科夜間部) 令和6年度																	
分類			授業科目名	授業科目概要	配当学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務教員による授業	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任			
○			心理学（発達・臨床）	生涯発達の観点から幼児期から老齢期に至るまで知識を習得し、臨床活動で役に立つ考え方や技術の習得を主眼とする。	後	30	2	○			○					○	
○			人体の構造と機能	人体を構成する器官の機能と構造について理解する。人体を構成するそれぞれの臓器がどのような機能を営んでいるかを理解する。	前	30	2	○			○						
○			臨床関連医学	眼科に来院する患者さんの基礎疾患を理解し、適切な対応ができる。	後	30	2	○			○						
○			病理学（疾病学を含む）	病態の基礎を学ぶ。疾病の原因・病因と疾病の種類・疾病の回復のメカニズムを理解する。	前	30	2	○			○						
○			医学概論	医学の目的とその成り立ちについての考え方を理解し、歴史的観点から医学思想の成立を跡づける。医学の進歩によって可能になった医療の現状を理解する。	前	15	1	○			○						
○			視覚生理学	視覚は明るさや色の空間知覚にあずかる機能である。外界からの可視光線をどのように処理し、脳に伝えるのか視覚生理学の基礎の部分から理解する。	前	15	1	○			○						○
○			視器の解剖生理学	正しい眼球の図を描くことができ、視器および付属器の名称とそれぞれの役割、生理機構を理解する。	前	30	2	○			○						○
○			視能検査機器学	眼球をレンズとして捉え、検査を行う上での基本的知識を学ぶ。各検査における結果とその評価を理解する。	後	30	2	○			○						○
○			視覚生理学実習	色覚・光覚・電気生理検査を中心に視覚生理学で学んだ知識を基に対象・検査手順・評価を学ぶ。	前	30	1			○	○						○
○			医療と安全	医療現場における安全とは何かを理解する。今後の医療現場において必要となる医療安全・患者安全を考えられる。	後	30	2	○			○						

○		公衆衛生学 と関係法規	生活環境における人間集団活動と公衆衛生の位置づけと意義を学ぶ。また、視能訓練士法をはじめとし関連業種の法律にも触れ業務遂行上の法律的知識を得る。	前	30	2	○			○		○		○
○		視覚障害者リハビリテーション	視覚障害者の現況を理解する。視覚障害者に対する正しい理解と対等な人間観を身につける。ロビイングの知識とスキルを身につけ患者様に見える感動を提供できる視能訓練士を目指す。	前	30	2	○			○		○		○
○		視能矯正学	視能矯正の枠組みと理論を理解し系統的な視能矯正を構築できる。	前	30	2	○			○		○		○
○		基礎視能矯正学	視能矯正学について外眼筋の作用から両眼視機能まで、基礎的なことを学ぶ。	前	60	4	○			○		○		○
○		生理光学	眼球をひとつの光学系としてとらえ、その仕組み・調節・屈折異常について理解する。	前	30	2	○			○		○		○
○		視能矯正学 実習	固視検査、眼位検査(遮蔽試験)、大型弱視鏡の理論と実際を理解する。	前	30	1			○	○		○		○
○		眼科薬理学	眼科領域における点眼薬を中心とした薬剤の薬理作用、注意点を学び、疾患別の各薬剤の使用目的、使い方を正しく理解する。	前	15	1	○			○		○		○
○		視能検査学	両眼視機能の検査について対象・検査法・評価等について学ぶ。	前	30	2	○			○		○		○
○		視能検査学 実習	視能検査学に基づき、その検査法を実際の手順に従って実施し、実践感覚を養う。	後	60	2			○	○		○		○
○		視能訓練士 総合講座	視能訓練士に必要な知識・技術を総合的に習得する	後	90	6	○			○		○		○
○		神経眼科学	神経眼科疾患に関連する解剖・生理・病理を学ぶ。また、神経眼科疾患の眼症状・全身所見・病巣(原因疾患)・治療法について学ぶ。	後	30	2	○			○		○		○
○		眼疾病学	視能訓練士が関わる眼疾患を中心にその病態。検査法、鑑別診断、治療法を理解する。	前	30	2	○			○		○		○
○		生理光学実習	眼科における様々な検査を正しく行う為の基本的な知識と技術を習得する。	前	60	2			○	○		○		○

○		視能訓練学	正常両眼視機能を理解する。網膜正常対応と異常対応を理解し評価できる。近見立体視検査の原理と評価を理解する。	前	30	2	○			○			○		○
○		視能訓練学Ⅱ	斜視や弱視の種類や特徴を理解する。斜視や弱視の視能矯正について理解する。	後	90	6	○			○		○			○
○		視能訓練学演習	眼科における様々な検査を正しく行う為の知識と技術を修得する。	前	45	3	△	○		○		○			○
○		実習前教育	臨地実習の目的と内容を理解し、実習に対する目的意識を明確にする。実習生としての立場から眼科外来で何をしたら良いかを学ぶ。	前	45	1			○	○		○			○
○		臨地実習	患者様へ対応することで視能訓練士として必要なスキルが何かを理解し、これまでに学んだ知識と技術をより確かなものにする。	後	450	10			○		○	○		○	○
合計			28 科目	1455単位時間( 69単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学年毎に必修単位数を修得したものは進級となる。卒業時まで全科目を履修し(1455時間、69単位)、学校長が適当と認めた者は卒業となる。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週